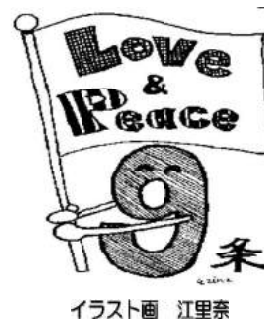


# にらめっこ

発行責任者 廣瀬邦治 印西市木下東4-6-13  
 TEL/FAX 0476-42-5034 Eメール k\_hirose839@ybb.ne.jp  
 印西・九条の会ホームページ: <http://inzai9jyounokai.webnode.jp/>



## 市民連合が街頭宣伝・シンポなどを展開

### 安保法制(戦争法)は廃止！ 野党は共闘！ 安倍政権ノー！

安保法制（戦争法）に反対してきた諸団体の市民有志による「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（略称＝市民連合）が結成され、新春から、街頭宣伝、シンポジウムなど活発な活動を展開しています。

市民連合は、2000万人署名を共通の基礎とし、(1)安全保障関連法の廃止 (2)立憲主義の回復（集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を含む） (3)個人の尊厳を擁護する政治の実現 に向けた野党共闘を要求し、これらの課題についての公約を基準に、参議院選における候補者の推薦と支援をおこなう、としています。

#### 「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の趣意、理念、方針（抜粋）

去る9月、安倍晋三政権は、集団的自衛権の行使を可能にするため憲法違反の安全保障法制を数の力で成立させた。これは、戦後日本の国民的合意である平和国家、専守防衛の国是を捨て去ろうとする暴挙である。

他方、安保法制に反対する様々な市民が自発的な運動を繰り広げ、世論に大きな影響を与えたことは、日本の民主政治の歴史上画期的な出来事であった。とはいえ、権力者による憲法の蹂躪（じゅうりん）を食い止めるためには、選挙によって傲慢（ごうまん）な権力者を少数派に転落させる以外にはない。安保法制反対の運動に加わった人々から野党共闘を求める声が上がっているのも当然である。

しかし、安保法成立後3か月以上が経過しているにもかかわらず、野党共闘の動きは結実していない。来年の参議院選挙で与党がやすやすと多数を維持するなら、多数派による立憲政治の破壊は一層加速し、憲法改正も日程に上るであろう。

日本の立憲主義と民主主義を守りたいと切望する市民にとって、もはや状況は座視できない。政党間の協議を見守るだけでは、自民党による一強状態を打破することはできない。今何より必要なことは、非自民の中身を具体的に定義し、野党共闘の理念と政策の軸を打ち立てる作業である。安保法制に反対した諸団体および市民が集まり、ここに安保法制廃止と立憲主義の回復を求める市民連合を設立する。

#### 呼びかけ5団体有志（敬称略）

- ▽戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会有志＝高田健、福山真劫、小田川義和
- ▽SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）有志＝奥田愛基、諏訪原健
- ▽安全保障関連法に反対する学者の会有志＝広渡清吾、佐藤学
- ▽立憲デモクラシーの会有志＝山口二郎、中野晃一、青井未帆
- ▽安保法制に反対するママの会有志＝西郷南海子、町田ひろみ、長尾詩子

## かあさんの変わらぬ思い

私の母は今87歳。持病が悪化して入退院を繰り返している。

母は選挙の時、戦争に反対する候補者名をたどたどしい字でなんどもなんども練習して投票に行く。勝気な母は一言「なかなか当選しないねえ」。私は「まあ、そんな事もあるよ」と言う。

母の夫は昭和18年、中国戦線で戦死した。多くの国民が体験した壮絶な人生を母も同じようにおくる事になったのである。幼子3人を抱え途方にくれる母、気丈に生きる母の姿をいくども苦労話を聞かされた私には幾分かは想像できるのである。

戦後授与された勲章を受け取りにも行かず「そんなものいまさら貰ってどうなる」の言葉。強く戦争を憎みつつ、無念さを感じる言葉だ。

母がまだ元気な頃、よく東京に遊びに来た。歌舞伎を楽しみ、新派劇に何度も足を運び、浅草の雑踏を歩いた。天皇へ恨みとも思えるほどの感情を持っていた母は皇居見物を激しい言葉で拒否した。

母が言う「だけど靖国神社は戦死者が祀られているんでしょ。かあさんをつれていってちょうだい」

九段下駅で降りる。大きな鳥居をくぐる。まっすぐ進むと本殿だ。白い玉砂利が鳴る。満開の桜が舞い落ちる。真っ白い鳩が飛び交う。心憎い演出だ。不覚にも少し厳粛な気持ちになる。しばいた母の目にはどう映ったのだろうか。私は一言も言葉をかけることが出来なかった。「こんな事でだまされないぞ！」と叫びたくなる。

母の弟は下北半島の寒村から召集され近衛師団に配属されたそうだ。戦争を憎みながらも、弟の話は自慢げに話す。天皇の名のもとに戦争にかりだされた人々、貧しい東北の村々から勇んで戦地へ向かった男たち。苦労ばなしと自慢。複雑な気持ちでただだまって聞く。よりいっそう悲しみと怒りがこみ上げてくる。

母は戦後再婚し私が生まれた。昭和22年5月3日に生まれる。平和憲法施行日である。母の変わらぬ平和への思いは私に受け継がれたのである。平和憲法とともに人生を送って来た私はこの憲法を誇りに思っているし、この憲法のもとで人生を全うしたいと願っている。さらに子供たちに大いなる遺産として残したいと。

病床から小さくなった体、小さい目で母がこっちをみつめる。いまだ子供を心配しているのだろうか、戦死した夫を思い出しているのだろうか、激動の世を駆け抜けた我が人生を顧みているのだろうか。私には判らないが、平和だったなら、戦争がなかったならという思いは変わらないと確信している。

**追記** この文章は数年前に書いたものです。一部を書き換え、自分自身を奮い立たせる意味で投稿しました。戦後70年のテレビや新聞などの特集を見て思い出される事が有ります。

40年前建設現場で二人の人夫（日雇い労働者）さんと話す機会が有りました。

一人が「俺たち戦争孤児なんだよ。苦労したよ。ね！」もう一人が「うん」と言って目を伏せる。数秒の沈黙。私は彼らの過酷な境遇を前に圧倒され言葉が出ませんでした。

母親に対しても心の襷までは理解できませんが、頑張らねば！と思います。

内野在住 自称；平和の子 K. N

## 安保法制（戦争法）の廃止をめざす市民共同の取り組みにご協力を

- ◎「安保法制（戦争法）の廃止をめざす印西の会」発足のつどいにご参加ください。（次ページの案内をご覧ください）
- ◎「安保法制（戦争法）の廃止をめざす印西の会」の呼びかけ人または賛同者になって下さい。
- ◎「戦争法の廃止を求める統一署名」が2000万人を目標に全国で取り組まれています。ぜひ署名を広げて下さい。

### 多数のご参加、ありがとうございました 1.24 ストップ！戦争 安保法制を考える市民のつどい 孫崎享さん講演会

#### ～ 参加者の感想・意見より ～

- ◎とても分かり易く興味をもって聴けた。良い日本を築くため微力を尽くしたい。
- ◎とても関心の高い話題で、わかりやすく、普段触れることのないような話が聞けて、充実した時間でした。
- ◎真実を伝えてくれる人が消し去られる中、貴重なお話です。
- ◎自分自身の学習にとどまらず、さらに声を広げていく必要性を実感できた「つどい」でした。
- ◎「ツイッターに参加しよう」という集会を。
- ◎若い世代にもっと聞かせたかった。
- ◎20～40代の若い世代の参加が少ないのが気になる。
- ◎参院選野党共闘に向けて具体的に動かなければと思います。千葉で野党2をとるために動かなければ改憲を止められない。具体的アクション提起を。



孫崎享氏の講演

#### 編集後記

▼安倍首相の改憲への前のめり発言が際立ってきました。国会で改憲勢力が三分の二以上の議席を占めれば、憲法改正を発議し国民投票に持ち込めるという計算でしょう。

▼その中で「緊急事態条項」が急浮上しています。自然災害やテロなどを口実に「緊急事態宣言」が発せられると、国会の機能を飛び越えて、内閣の判断で事実上法律を制定でき、基本的人権を制限できるというものです。三権分立を破壊して独裁政治を打ち立てようとする危険極まりない構想です。

▼ナチス・ヒットラーが「全権委任法」でワイマール憲法を停止し、独裁政治を打ち立て戦争への道を突き進んだことは、よく知られています。「ナチスに学んだらどうかね」と言ったのは麻生大臣ですが、安倍首相はいよいよ「独裁と戦争」国家に向かって暴走する決意のようです。

▼今年には参議院選挙の年、衆参同時選挙も取り沙汰されています。安倍首相の「独裁と戦争」国家の野望を打ち砕く主権者国民の断固たる審判が必要です。

ストップ！！  
戦争

アベ政治を  
許さばい

## 安保法制(戦争法)の廃止をめざす印西の会 発足のつどい (仮称)

- 日時：2月27日(土) PM1:30～PM3:30
  - 会場：中央駅前地域交流館 2号館3階 会議室5
- お誘い合わせてご参加ください。

### 安保法制(戦争法)の廃止をめざす印西の会 申し合わせ

1. 会の名称： 『安保法制(戦争法)の廃止をめざす印西の会』とする。
2. 会の目的： 安保法制(戦争法)を廃止すること。
3. 会の構成： 会の目的に賛同し自主的に参加する個人・団体等で構成する。
4. 会の活動： 宣伝、署名、対話、学習会、集会、パレードなど諸活動に共同して取り組む。  
戦争させない・9条こわすな！総がかり行動実行委員会の主旨に賛同し活動する。
5. 会の財政： 募金を基本とする。
6. 会の運営： 定期的に、または必要に応じて実行委員会を開催する。  
事務局長、事務局次長、および会計をおく。  
日常的な連絡体制をとり、情報交換・意見交換を行う。  
構成員の自主性は尊重され、自主的活動は妨げられない。

2015年12月13日

#### 【呼びかけ】

#### 安保法制(戦争法)の廃止をめざす 印西の会準備会

年金者組合西いんば支部	渋田真澄
印西市平和行進実行委員会	早坂義郎
印西・九条の会	廣瀬邦治
新日本婦人の会印西支部	志和共子
コスモス健康友の会	伊藤和江
印西市平和委員会	神沢俊一郎

#### ～ 内容(予定) ～

- ・あいさつ：呼びかけ人(団体)より
- ・基調講演：講師(検討中)
- ・意見交換：安保法制の廃止をめざす  
取り組みについて
- ・行動提起：当面の行動について

(連絡先： 廣瀬邦治 TEL/FAX 0476-42-5034 携帯 090-1706-2572)